

今回は、9月17日に実施した高等部2年生職場見学と、10月から始まる新しい福祉サービスの「就労選択支援」について、紹介します。

公共職業安定所主催 高等部2年生事業所見学

岡山公共職業安定所主催の、一般就労（A型事業所含む）を志望している生徒を対象とした職場見学会がありました。これは例年県内特別支援学校が順番に対象となる職安主催の企画で、今年度は本校が対象校となりました。9月17日（火）に高等部2年生の生徒9名と引率教員で、①平林金属㈱リサイクルファーム御津②A型事業所たからさがし③㈱ムラタコスモス岡山分室（㈱村田製作所の特例子会社）の3事業所を見学しました。



平林金属

目の前で卒業生が働いている様子を見たり、業務内容の説明を聞いたり

した後、生徒から「卒業までにどんなことを身に付ければ良いですか？」「長く働き続けるために大切なことは何ですか？」といった質問に各事業所とも丁寧に答えていただきました。また、昼食は村田製作所の大きな社員食堂を利用する等、引率者含めて新鮮な経験も出来て実り多い学習ができました。



たからさがし



岡山村田製作所 食堂 ※HPより

10月開始の新しい障害福祉サービス「就労選択支援事業」について

就労選択支援

【文科省・厚労省から各都道府県あてに出された文書より一部抜粋】

趣 旨

「就労選択支援」は、R7年10月1日から開始する、新しい障害福祉サービスです。これは、障害者本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援することを趣旨としたものです。



現状・課題

- ・就労系障害福祉サービスの利用を希望する障害者の就労能力や適性を客観的に評価し、それを本人の就労に関する選択や具体的な支援内容に活用する手法等が確立されていないため、障害者の就労能力や一般就労の可能性について、障害者本人や障害者を支援する者が十分に把握できておらず、適切なサービス等につなげられていない。
- ・一旦、就労継続支援A型・B型の利用が始まると、固定されてしまいやすい。
- ・本人の立場に立ち、次のステップを促す支援者がいるかどうかで、職業生活、人生が大きく左右される。

基本方針

- ・短期間の生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に関する適性、知識及び能力の評価や就労に関する意向、就労するために必要な配慮やその他の下記の主務省令で定める事項について整理を行います。アセスメント結果を踏まえ、障害者本人や関係者（家族や学校、支援機関等）を交えた多機関連携によるケース会議を行い、障害者本人の就労に関する意思決定支援を行います。

補足

H27～R7.9月までの、直Bアセスメント（新卒者が直ぐにB型事業所を利用する意向がある人を対象としたアセスメント）の事業が終了し、今後は就労選択支援のアセスメントに変わります。アセスメント本来の目的は本人の可能性を探るものであり、その可能性が実現するためにはどのような支援が必要なのかを把握する材料となるものです。また、本人の意思決定支援＝選択支援アセスメント事業者が関わることで、本人が自分で選択できるために、より多くの情報を伝えることができるという目的がより強化されたものというイメージである と、研修会で聞きました。

【裏面が有ります】

●対象者

- ・就労継続支援B型はR.7年10月から、「就労選択支援事業者によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている者」が利用対象となることから、
就労継続支援B型を利用する意向がある人は、「就労選択支援」を利用しておく必要があります。
※ 支援学校卒業して、就労経験があり年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難になった人は就労選択支援を受ける必要無くB型の利用が可能です。
- ・R9.4月からは、新たに就労継続支援A型を利用する人、標準利用期間を越えて就労移行支援を利用する場合も対象となります。

未だ、実施方法等についてははっきりとしていませんが、岡山西支援学校では本年度3学期から、高等部2年生の、卒業後にB型事業所希望の意向がある生徒を中心に実施を考えています。今後、就労選択支援に関する情報が入り次第お伝えしようと考えています。よろしくお願いいたします。

高等部進路指導係